

連結貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	369,860,888	固定負債	176,408,368
有形固定資産	352,557,900	地方債等	123,499,405
事業用資産	112,399,298	長期未払金	-
土地	27,460,615	退職手当引当金	13,958,257
立木竹	123,954	損失補償等引当金	-
建物	174,203,565	その他	38,950,706
建物減価償却累計額	△ 95,507,393	流動負債	18,506,621
工作物	22,652,293	1年内償還予定地方債等	13,470,950
工作物減価償却累計額	△ 17,789,206	未払金	2,758,947
船舶	-	未払費用	20,832
船舶減価償却累計額	-	前受金	11,420
浮標等	-	前受収益	628
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	1,206,813
航空機	-	預り金	909,672
航空機減価償却累計額	-	その他	127,360
その他	-		
その他減価償却累計額	-	負債合計	194,914,989
建設仮勘定	1,255,470	【純資産の部】	
インフラ資産	229,529,599	固定資産等形成分	378,443,995
土地	10,358,579	余剰分(不足分)	△ 173,884,404
建物	31,164,247	他団体出資等分	146,368
建物減価償却累計額	△ 9,922,605		
工作物	449,365,280		
工作物減価償却累計額	△ 257,716,024		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	6,280,121		
物品	32,269,835		
物品減価償却累計額	△ 21,640,832		
無形固定資産	962,784		
ソフトウェア	337,929		
その他	624,855		
投資その他の資産	16,340,203		
投資及び出資金	2,374,387		
有価証券	103,455		
出資金	2,270,932		
その他	-		
長期延滞債権	1,028,369		
長期貸付金	232,288		
基金	12,800,642		
減債基金	-		
その他	12,800,642		
その他	21,945		
徴収不能引当金	△ 117,428		
流動資産	29,760,061		
現金預金	14,414,841		
未収金	3,752,516		
短期貸付金	15,200		
基金	8,567,908		
財政調整基金	4,483,381		
減債基金	4,084,527		
棚卸資産	3,142,568		
その他	12,089		
徴収不能引当金	△ 145,060		
繰延資産	-		
		純資産合計	204,705,960
資産合計	399,620,949	負債及び純資産合計	399,620,949

連結行政コスト計算書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	137,064,808
業務費用	61,912,872
人件費	19,681,502
職員給与費	15,117,191
賞与等引当金繰入額	1,200,893
退職手当引当金繰入額	1,413,340
その他	1,950,078
物件費等	39,487,618
物件費	22,267,904
維持補修費	2,312,077
減価償却費	14,698,597
その他	209,040
その他の業務費用	2,743,752
支払利息	1,153,111
徴収不能引当金繰入額	164,801
その他	1,425,840
移転費用	75,151,936
補助金等	64,796,911
社会保障給付	10,178,149
その他	176,876
経常収益	20,753,390
使用料及び手数料	17,237,164
その他	3,516,226
純経常行政コスト	116,311,418
臨時損失	324,826
災害復旧事業費	-
資産除売却損	77,978
損失補償等引当金繰入額	-
その他	246,848
臨時利益	316,026
資産売却益	42,355
その他	273,671
純行政コスト	116,320,218

連結純資産変動計算書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産等形成分		
		固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	202,300,328	377,797,127	△ 175,655,781	158,982
純行政コスト(△)	△ 116,320,218		△ 116,149,705	△ 170,512
財源	119,363,683		119,206,863	156,820
税金等	63,618,074		63,618,074	-
国県等補助金	55,745,609		55,588,789	156,820
本年度差額	3,043,466		3,057,158	△ 13,692
固定資産等の変動(内部変動)		1,288,628	△ 1,288,628	
有形固定資産等の増加		15,424,953	△ 15,424,953	
有形固定資産等の減少		△ 14,778,260	14,778,260	
貸付金・基金等の増加		1,967,330	△ 1,967,330	
貸付金・基金等の減少		△ 1,325,395	1,325,395	
資産評価差額	△ 7,348	△ 7,348		
無償所管換等	△ 633,641	△ 633,641		
他団体出資等分の増加	-		△ 1,078	1,078
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	5,613	1,687	3,926	-
その他	△ 2,458	△ 2,458	-	
本年度純資産変動額	2,405,631	646,868	1,771,378	△ 12,614
本年度末純資産残高	204,705,960	378,443,995	△ 173,884,404	146,368

連結資金収支計算書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	122,070,824
業務費用支出	46,895,231
人件費支出	19,432,949
物件費等支出	24,890,901
支払利息支出	1,171,256
その他の支出	1,400,124
移転費用支出	75,175,594
補助金等支出	64,796,911
社会保障給付支出	10,178,149
その他の支出	200,534
業務収入	134,316,103
税収等収入	62,291,471
国県等補助金収入	51,792,471
使用料及び手数料収入	16,788,184
その他の収入	3,443,976
臨時支出	221,256
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	221,256
臨時収入	313,733
業務活動収支	12,337,756
【投資活動収支】	
投資活動支出	20,214,789
公共施設等整備費支出	15,502,052
基金積立金支出	1,889,516
投資及び出資金支出	9,376
貸付金支出	2,810,674
その他の支出	3,171
投資活動収入	9,010,609
国県等補助金収入	4,944,039
基金取崩収入	1,185,790
貸付金元金回収収入	2,802,374
資産売却収入	48,095
その他の収入	30,311
投資活動収支	△ 11,204,180
【財務活動収支】	
財務活動支出	13,534,300
地方債等償還支出	13,489,786
その他の支出	44,514
財務活動収入	13,396,524
地方債等発行収入	13,396,524
その他の収入	-
財務活動収支	△ 137,776
本年度資金収支額	995,800
前年度末資金残高	12,514,189
比例連結割合変更に伴う差額	3,559
本年度末資金残高	13,513,547
前年度末歳計外現金残高	1,096,261
本年度歳計外現金増減額	△ 194,967
本年度末歳計外現金残高	901,294
本年度末現金預金残高	14,414,841

連結附属明細書

1. 連結貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:千円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度減価償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	223,310,908	3,084,652	699,664	225,695,897	113,296,599	4,242,379	112,399,298
土地	27,461,184	95,188	95,756	27,460,615	-	-	27,460,615
立木竹	123,954	-	-	123,954	-	-	123,954
建物	171,901,364	2,316,889	14,687	174,203,565	95,507,393	3,840,770	78,696,173
工作物	22,569,288	84,568	1,563	22,652,293	17,789,206	401,609	4,863,087
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	1,255,119	588,008	587,657	1,255,470	-	-	1,255,470
インフラ資産	486,917,945	17,583,071	7,332,789	497,168,228	267,638,629	8,521,530	229,529,599
土地	10,345,992	15,110	2,523	10,358,579	-	-	10,358,579
建物	19,473,156	11,703,680	12,588	31,164,247	9,922,605	559,140	21,241,642
工作物	446,131,588	3,338,471	104,779	449,365,280	257,716,024	7,962,390	191,649,256
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	10,967,210	2,525,810	7,212,899	6,280,121	-	-	6,280,121
物品	30,647,066	1,935,307	312,538	32,269,835	21,640,832	1,788,839	10,629,003
合計	740,875,919	22,603,031	8,344,990	755,133,960	402,576,060	14,552,748	352,557,900

連結財務書類における注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……取得原価

取得原価が不明なもの……再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……原則として取得原価

ただし、取得原価が不明なものは、再調達原価としています。

なお、一部の連結対象団体(会計)においては、原則、取得原価としています。

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……償却原価法(定額法)

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……会計年度末における市場価格

(売却原価は移動平均法により算定)

イ 市場価格のないもの……取得原価

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……会計年度末における市場価格

(売却原価は移動平均法により算定)

イ 市場価格のないもの……出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 販売用土地……個別法による低価法

② 貯蔵品……先入先出法による原価法

(一部の連結対象団体(会計)においては、最終仕入原価法)

③ 商品……最終仕入原価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除きます。)……定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物(建物付属設備を含む)	2年～50年
工作物	4年～60年
物品	2年～20年

② 無形固定資産(リース資産を除きます。)……定額法

(ソフトウェアについては、本市における見込利用期間(5年)に基づく定額法によっています。)

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産(リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

……自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

ただし、一部の連結対象団体(会計)では、平成27年4月1日以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しています。

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金及び長期延滞債権については、過年度における平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

ただし、一部の連結対象団体(会計)では、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

貸付金については、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

ただし、一部の連結対象会計では、公営企業の会計基準変更時における要引当金の差異の15年にわたる均等費用処理額を調整しています。

③ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額(連結対象団体に対する額は除きます)を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引(リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

ただし、一部の連結対象会計では、所有権移転外ファイナンス・リース取引(リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)について、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金(手許現金及び要求払預金)及び現金同等物(容易に換金可能であり、かつ、価値変動が僅少なもので、流動性の高い投資をいいます。ただし、本市の一般会計及び特別会計においては、本市の資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。)

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体(会計)では、税抜方式によっています。

2 重要な後発事象

2021年3月31日にふじの里振興株式会社および株式会社くしきふるさと振興公社は解散しております。

3 偶発債務

(1) 係争中の訴訟等

当該財務書類公表時点で、損害賠償等の請求を受けている係争中の訴訟はありません。

4 追加情報

(1) 連結財務書類における連結対象団体(会計)

団体(会計)名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	公営事業会計	-	-
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	公営事業会計	-	-
後期高齢者医療保険特別会計	公営事業会計	-	-
介護保険特別会計	公営事業会計	-	-
宅地造成事業会計	公営企業会計(法非適)	-	-
病院事業会計	公営企業会計(法適)	全部連結	-
水道事業会計	公営企業会計(法適)	全部連結	-
下水道事業会計	公営企業会計(法適)	全部連結	-
庄内広域行政組合 (一般会計)	一部事務組合・広域連合	比例連結	46.39%
庄内広域行政組合 (青果市場事業特別会計)			48.56%
庄内広域行政組合 (庄内食肉流通センター事業 特別会計)			47.45%
山形県市町村職員退職手当組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.00%
山形県後期高齢者医療広域連合	一部事務組合・広域連合	比例連結	11.68%
山形県消防補償等組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	12.47%
山形県自治会館管理組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	12.95%
(一財)鶴岡市開発公社	第三セクター等	全部連結	-
(公財)庄内地域産業振興センター	第三セクター等	全部連結	-
(公財)出羽庄内国際交流財団	第三セクター等	全部連結	-
(公財)藤島文化スポーツ事業団	第三セクター等	全部連結	-
ふじの里振興(株)	第三セクター等	全部連結	-
(株)ゆぽか	第三セクター等	全部連結	-
(一社)月山畜産振興公社	第三セクター等	全部連結	-
(株)くしびきふるさと振興公社	第三セクター等	全部連結	-
(株)月山あさひ振興公社	第三セクター等	全部連結	-
(株)クアポリス温海	第三セクター等	全部連結	-
(株)鶴岡地区クリーン公社	第三セクター等	全部連結	-
(一社)DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー	第三セクター等	全部連結	-

連結の方法は、次のとおりです。

- ① 公営事業会計及び公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。
- ② 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。
- ③ 第三セクター等は、出資割合等が50%を超える団体(出資割合等が50%以下であっても、本市が業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。)は、全部連結の対象としています。

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき、出納整理期間を設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない会計と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

本市において売却予定とした公共資産

イ 内訳

事業用資産	109,054 千円	(83,549 千円)
土地	109,054 千円	(83,549 千円)
建物	- 千円	(- 千円)

2021 年 3 月 31 日時点における売却可能価額を記載しています。

売却可能価額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によります。

上記の括弧内には、貸借対照表における簿価を記載しています。

(5) 新型コロナウイルス感染症対策

- ① 関連経費として、連結行政コスト計算書の業務費用に 15,112,282 千円計上しています。
- ② 関連経費充当財源として、連結純資産変動計算書の国県等補助金に 15,531,807 千円計上しています。
- ③ 関連経費として連結資金収支計算書の業務支出に 15,112,282 千円、充当財源として業務収入に 15,531,807 千円計上しています。